

H19年度 市川市塩浜護岸改修事業の概要について

目 次

1.平成18年度 市川海岸塩浜地区護岸検討委員会の検討経緯	1
2.平成19年度 千葉県三番瀬再生実施計画(案) 参考資料	17
参考 モニタリング結果の施工直後での検証	27

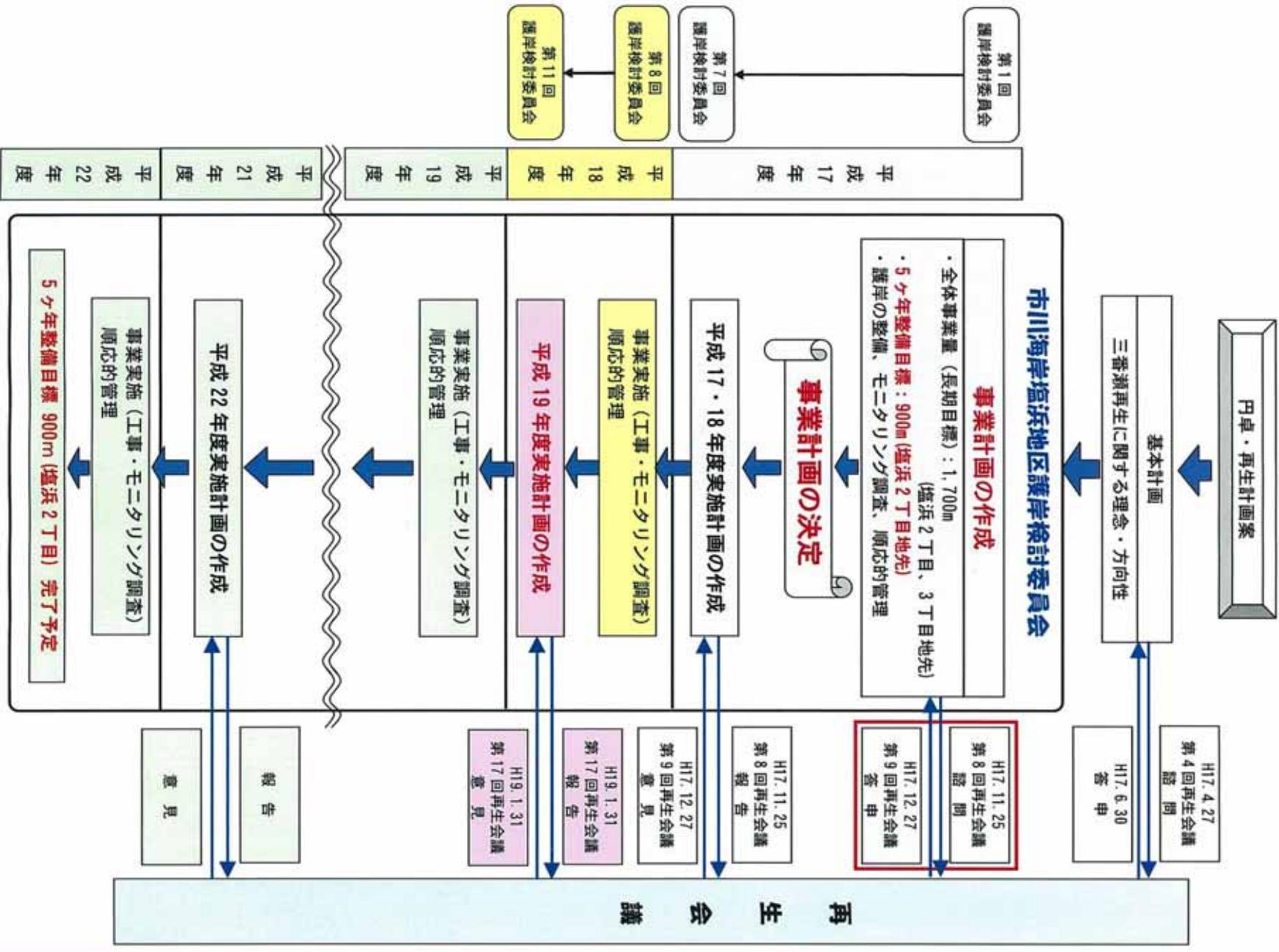
1. 平成18年度 市川海岸塩浜地区護岸検討委員会の検討経緯

目 次

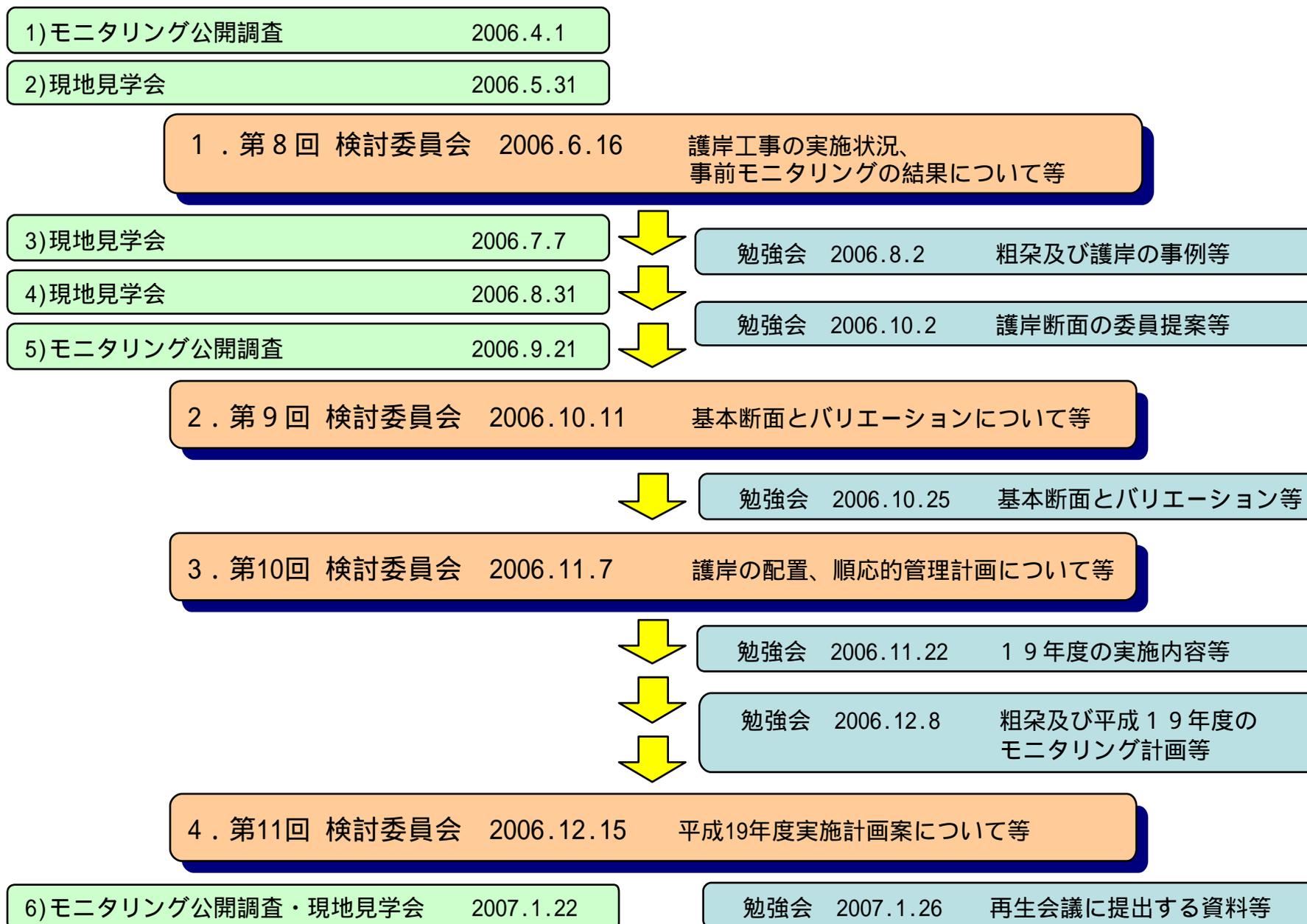
1. 市川海岸塩浜地区護岸検討委員会の経緯	2
2. H18 年度市川海岸塩浜地区護岸検討委員会の検討経緯	3
3. 護岸断面の検討経緯	4
(1) 検討の流れ	4
(2) モニタリングをふまえた護岸断面の改善内容	5
(3) 委員から出された、より良い断面への提案内容	6
(4) より良い断面の提案	7
(5) 護岸の平面デザイン（検討中）	9
4. H19 年度の整備方針について	12
(1) 工事の考え方	12
(2) 実施計画検討案	13
(3) H19 年度の整備方針の検討の流れ	16



1. 市川海岸塩浜地区護岸検討委員会の経緯

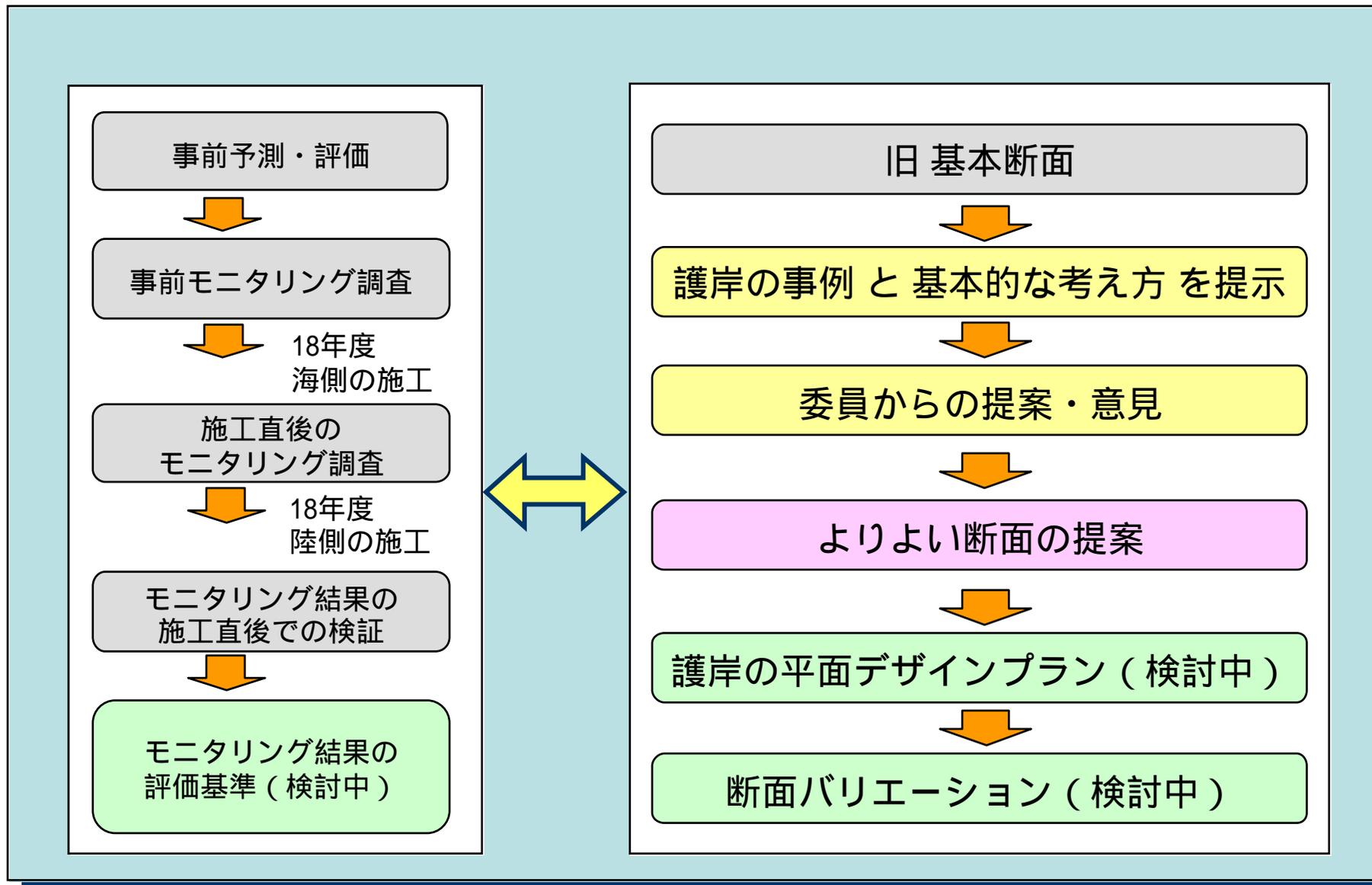


2. H18年度 市川海岸塩浜地区護岸検討委員会の検討経緯

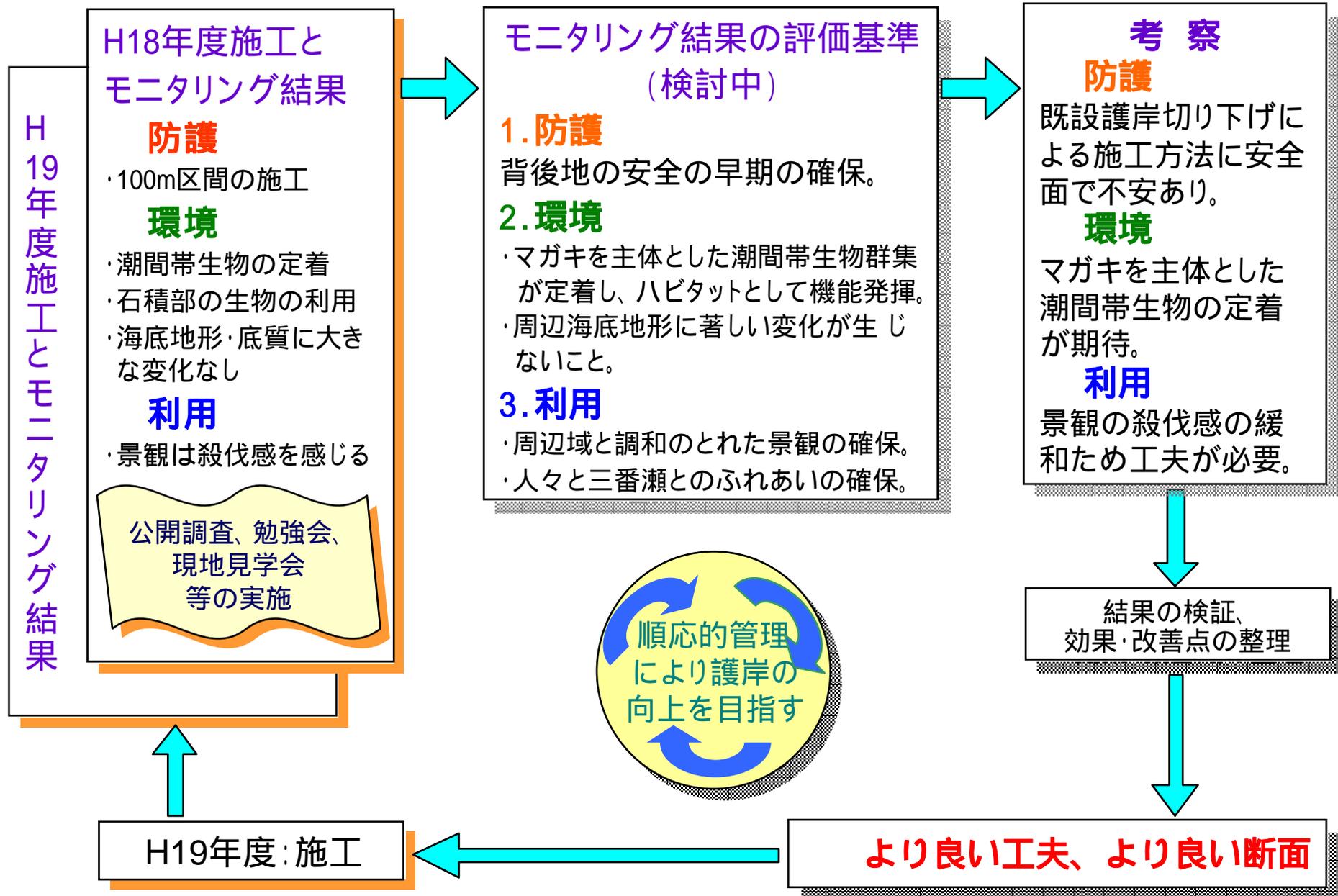


3. 護岸断面の検討経緯

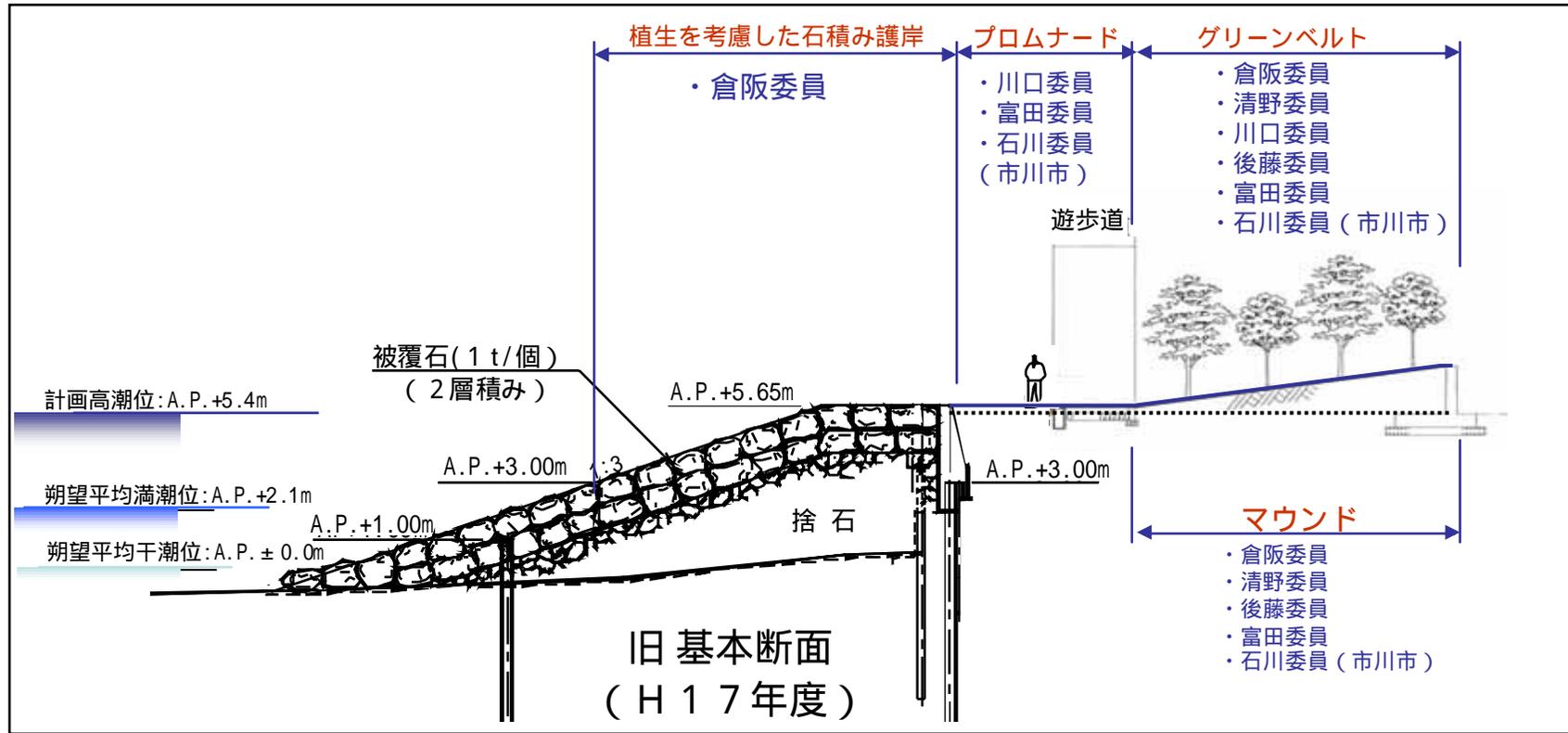
(1) 検討の流れ



(2) モニタリングをふまえた護岸断面の改善内容



(3) 委員から出された、より良い断面への提案内容



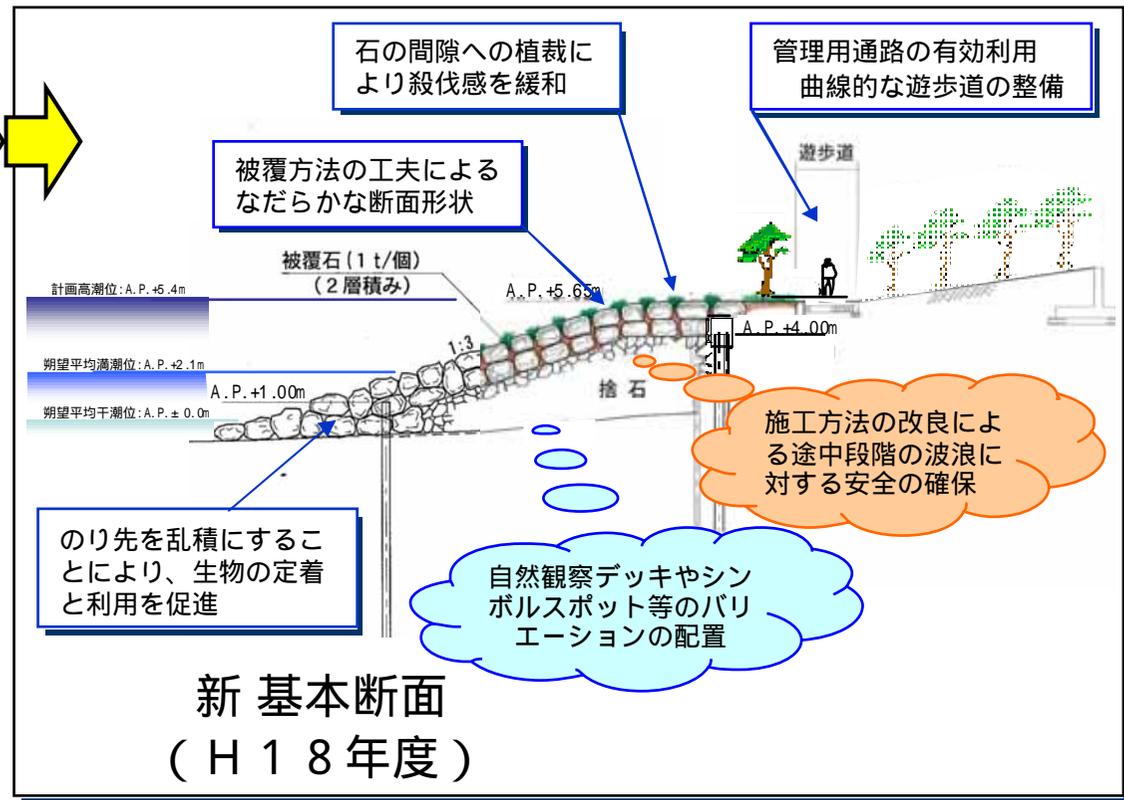
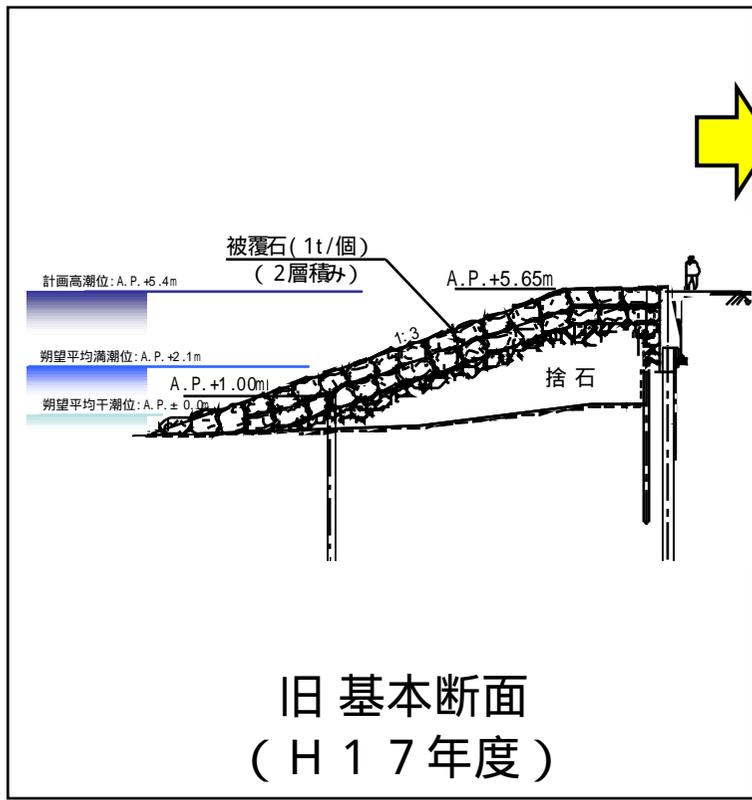
参考事例：お台場海浜公園



参考事例：大井埠頭中央海浜公園

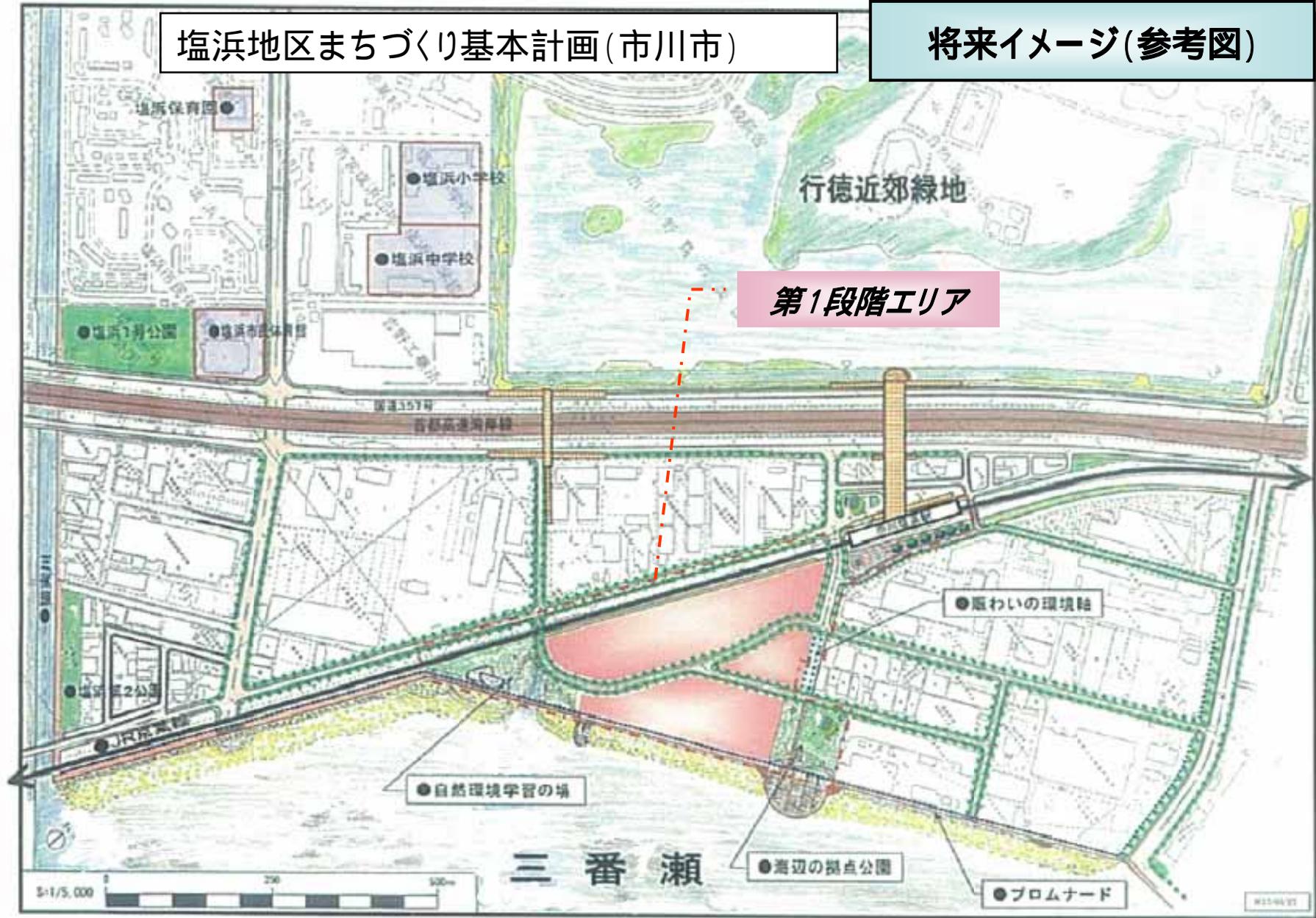
(4) より良い断面の提案

項目	H17年度の取り組み	H18年度の取り組み
断面形状	3割の緩傾斜断面	被覆方法を工夫し角張った断面形状を造らない(ハッキリとした護岸法線(稜線)を造らない)。
景観	自然石の利用	石の隙間に植栽をほどこし、殺伐感を緩和する。
管理用通路	一般的な管理用通路	管理用通路を有効利用し、曲線的な遊歩道(プロムナード)を造る。
その他	特になし	事例等を参考にしよりよい工夫を行うものとし、のり先部分は乱積みとして生き物に配慮していく。



塩浜地区まちづくり基本計画(市川市)

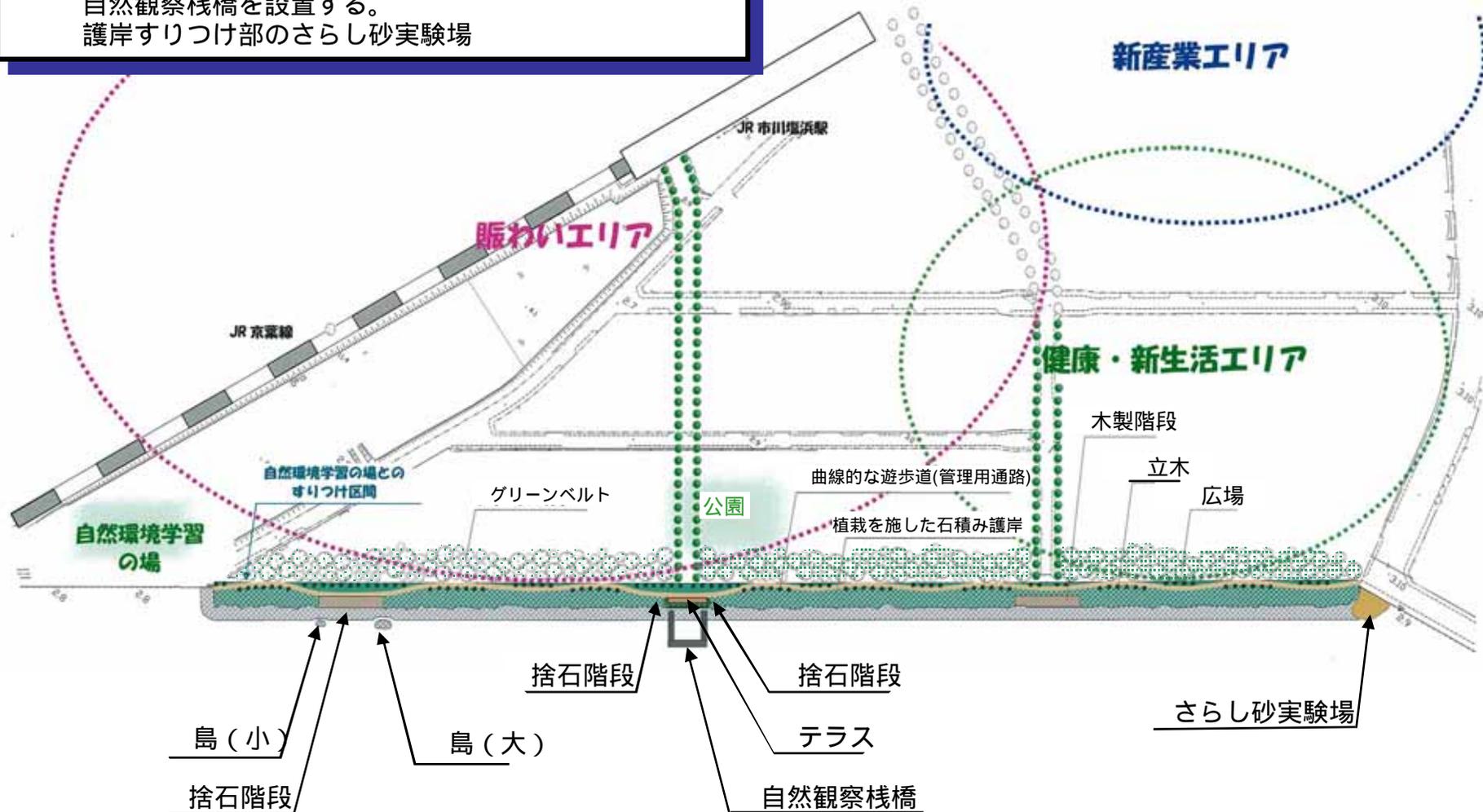
将来イメージ(参考図)



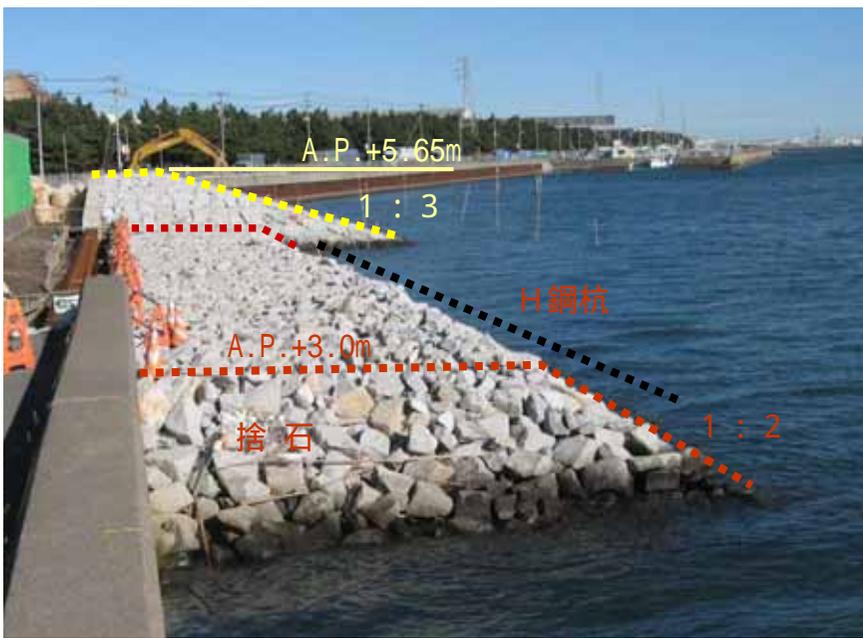
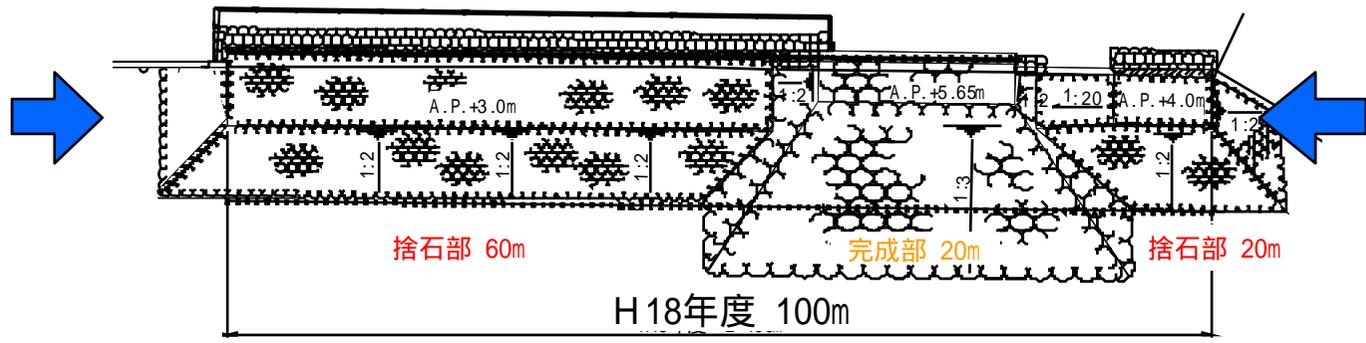
(5) 護岸の平面デザイン (検討中)

平面デザイン (検討中) を踏まえたバリエーションの提案

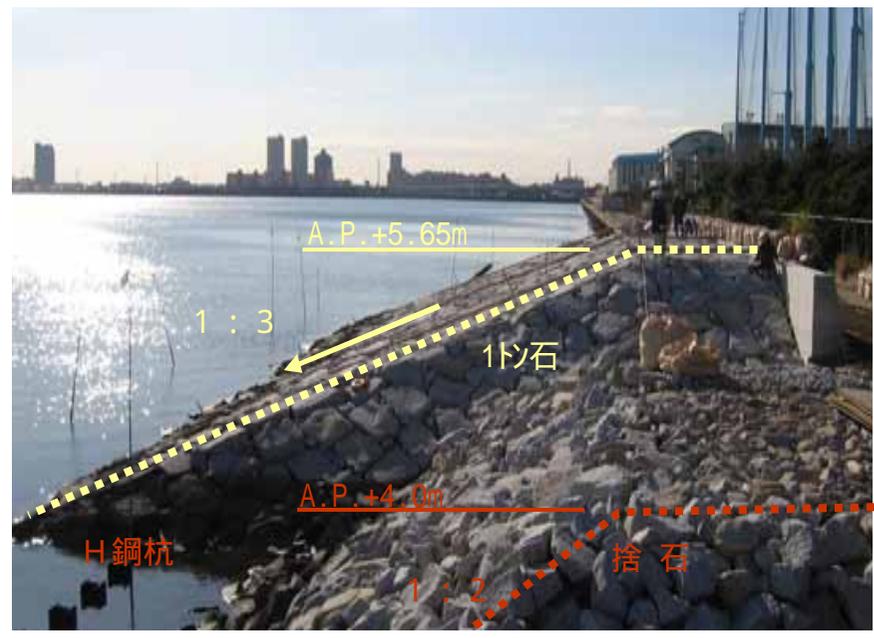
- シンボリックなスポットを造る。
- 水際へのアクセスができるように階段部を造る。
- マウンドを含めた一体的な整備を図る。
- 段差を利用したテラスを造る。
- 自然観察棧橋を設置する。
- 護岸すりつけ部のさらし砂実験場



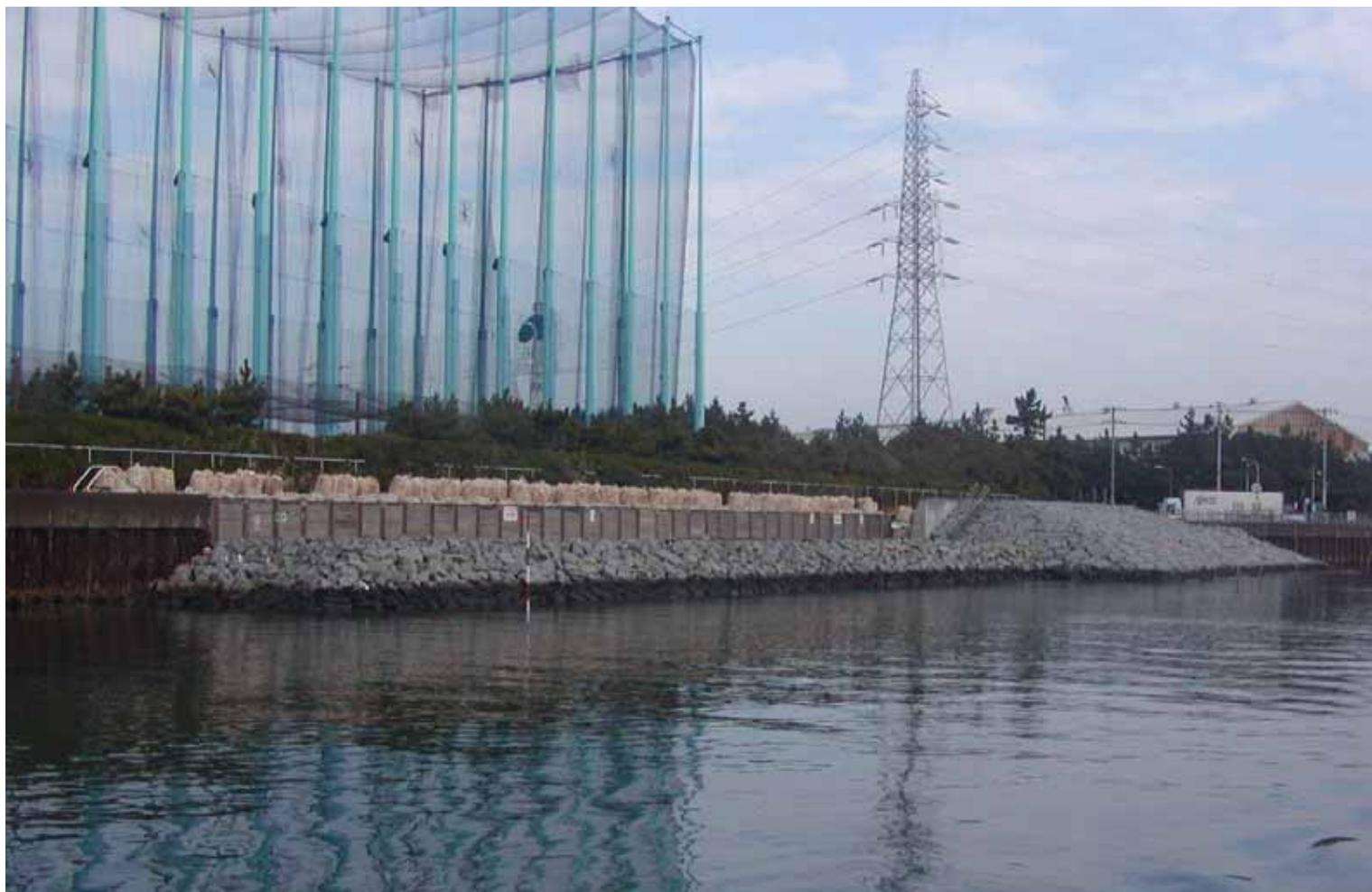
参考 H18年度の整備について



H18年度の整備状況 (左の視点から)



H18年度の整備状況 (右の視点から)



H18年度の整備状況（海上からの全景）

4. H19年度の整備方針について

(1) 工事の考え方

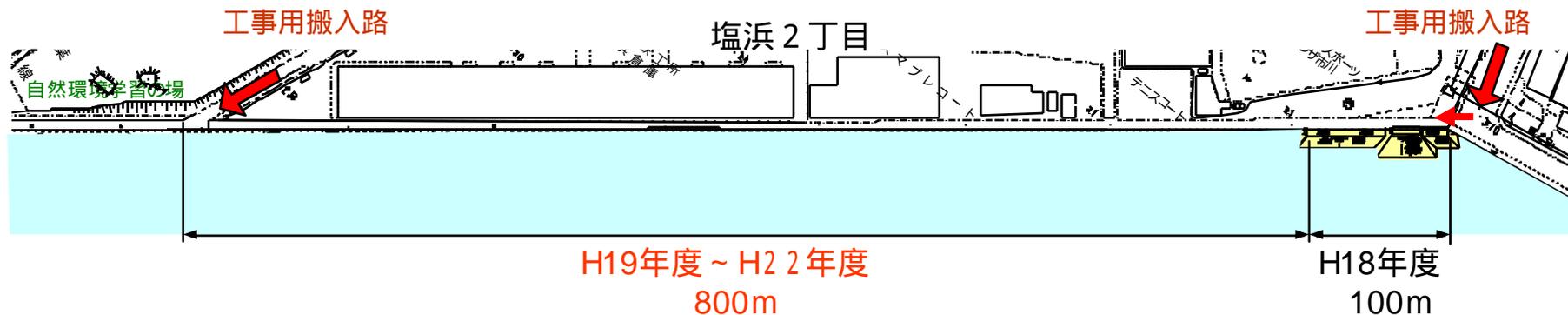
= 工区設定について =

1. 平成19年度～平成22年度(4箇年)で800m施工する必要がある。

2. 1工区だけからの施工では800mの施工に8年を要する。

3. 工事用搬入路になる現在の1箇所の出入り口では、複数の工区での工事は不可能。

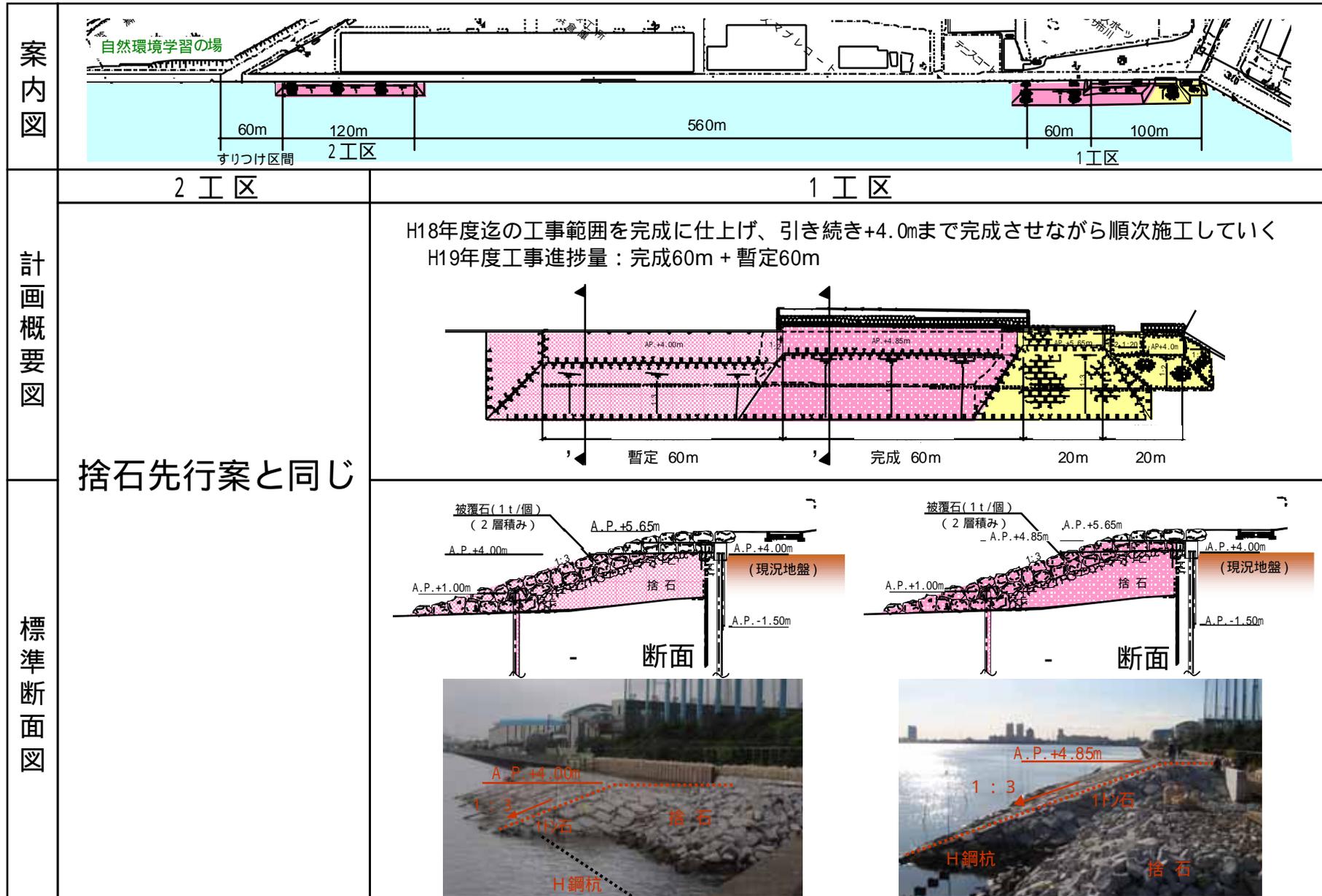
2つの工区で同時に工事を進めることで、800mの施工が4年となる。
このことから2工区を設定し、工事の進捗を図るものとした。



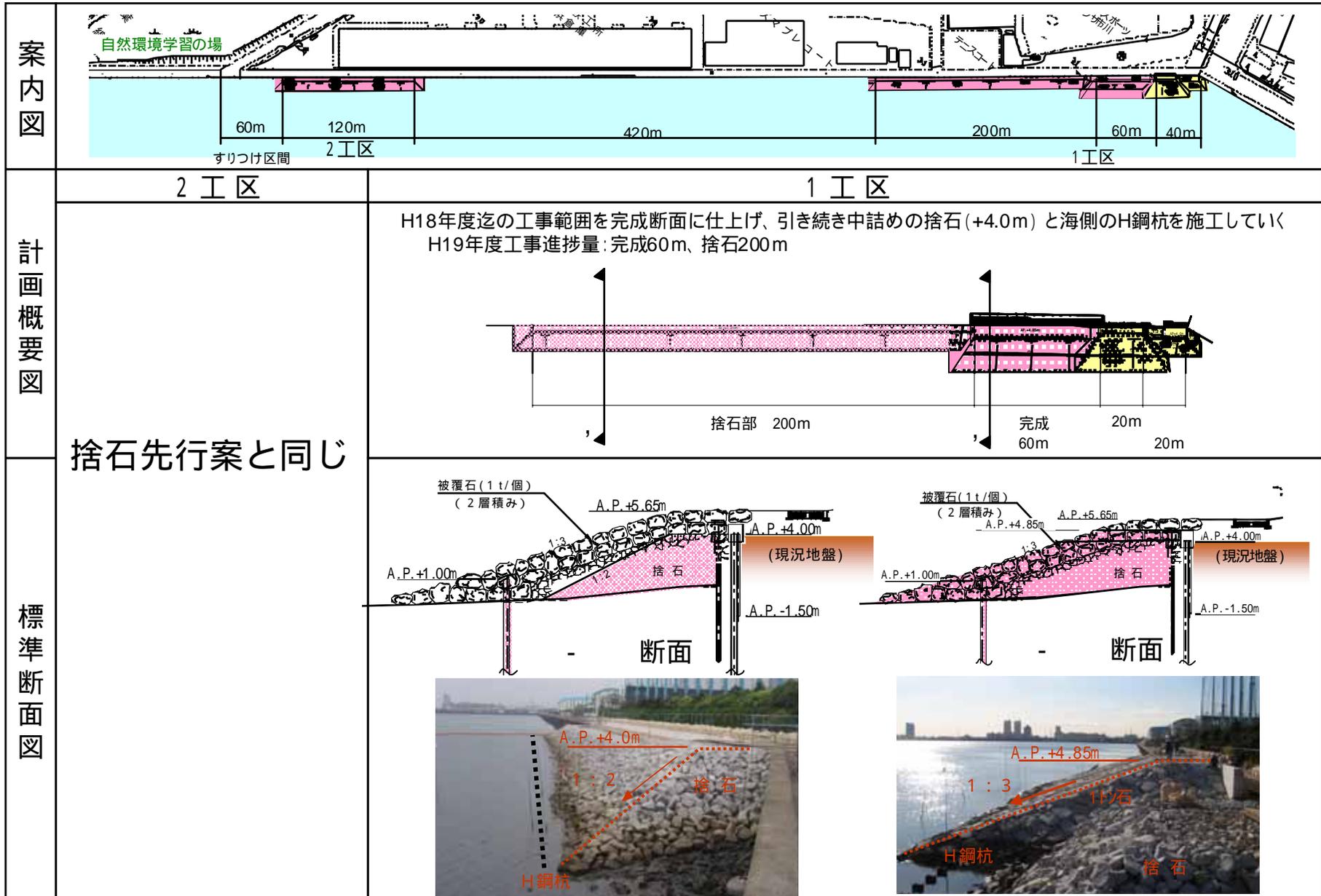
(2) 実施計画検討案 捨石先行(案)

案内図		
計画概要図	2 工 区	1 工 区
	<p>中詰めの捨石 (+4.0m) と海側の H 鋼杭を施工していく捨石部 120m H19年度工事進捗量：捨石120m</p> <p style="text-align: center;">捨石部 120m</p>	<p>H18年度迄の工事の状態で、引き続き中詰めの捨石 (+4.0m) と海側の H 鋼杭を施工していく H19年度工事進捗量：捨石230m</p> <p style="text-align: center;">捨石部 230m H18年度 100m</p>
標準断面図		

完成形(案)



完成形 + 捨石先行（案）



(3) H19年度の整備方針の検討の流れ

実施計画検討案
捨石先行（案）、完成形（案）
完成形 + 捨石先行（案）



委員からの意見

主な意見
1) 捨石先行（案）で現況の安全を早期に確保してほしい。
2) 2工区は背後地との調整を含めての追加検討のため保留したい。
3) モニタリングを継続し1年間工事を休止すべき。



第11回検討委員会の意見の内訳

案	意見（13名） （欠席；学識2、一般3）	
捨石先行（案）	9名	学識2、一般3、行政4
完成形（案）	0名	
完成形 + 捨石先行（案）	0名	
上記 に対して2工区保留（案）	2名	学識1、一般1
工事1年休止（案）	2名	一般2



捨石先行（案）を再生会議に報告



- 1. 新基本断面
（H17年度の断面を改善）
- 2. H19年度の実施計画（捨石先行案）
 - 1工区 230m（A.P.+4.0m）
 - 2工区 120m（A.P.+4.0m）

- 継続審議事項
- 1. 断面バリエーション
 - 2. 護岸の平面配置計画
 - 3. 護岸の景観
 - 4. 後背地計画との調整